

出エジプト記 32:1 – 34:35 民の墮落、神の裁きと回復の御業 本日は出エジプト記の最後の未読箇所、イスラエルが重大な罪を犯す部分を取り上げます。私たちは彼らのように偶像を崇拜しないかもしれませんが、この箇所は罪への道筋、罪の代償、そして罪からの回復を示しています。罪が如何に誘惑し、最終的に代償を払わせるかを警告すると同時に、神の恵みによる回復への希望も与えています。本日は再び32章から34章まで複数章をカバーしますが、罪の描写は32章にあります。冒頭の数節で、罪への道筋が見て取れます。その道は彼らが最初に神の御言葉に背いた時に始まりました。モーセがすぐに戻らなかったため、民はアロンのもとへ行き、1節でこう言います。

1 民はモーセが山から一向に下りて来ようとしないうちを見て、アロンのもとに集まり、彼に言った。「さあ、われわれに先立って行く神々を、われわれのために造ってほしい。われわれをエジプトの地から導き上った、あのモーセという者がどうなったのか、分からないから。」

彼らはすでに十戒を聞いており、神が出エジプト記 20章4-5A節でこう言われたことを知っていました。**4 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。5 それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたみの神。わたしを憎む者には父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、**彼らは神が語られたことを知っていましたが、それでも来てアロンにこう言いました。**神々を、われわれのために造ってほしい。**この道は、私たちが神の御言葉に耳を傾けず、さらに神の御計画を疑い始める時に続きます。民がモーセについて語った言葉に注目して下さい。**モーセという者がどうなったのか、分からないから。**真実を言えば、彼らはモーセの居場所を正確に知っていました。彼らの頭上にそびえる山に神の御臨在を目撃し、モーセが十戒を受け取っていることを知っていたのです。出エジプト記 24章で神が彼らを山に招かれた当初を思い出せば、18節でモーセが山に四十日四十夜だけいたと学びました。ですから彼らが神とその御計画への信頼を失うのに、さほど時間はかかりませんでした。神を信頼する代わりに、彼らが思っていたより長くかかると彼らは別のものを求めました。神のタイミングが気に入らないとき、私たちは神から目を背け始めます。そして、神が私たちの期待通りに働いていないように見えるため、信仰が揺らぎます。そうすると、次に、私たちは自分の人生における神の恵みを忘れてしまうのです。2 節を見てください。**2 それでアロンは彼らに言った。「あなたがたの妻や、息子、娘たちの耳にある金の耳輪を外して、私のところに持って来なさい。**しかし、彼らがどのようにその金の耳輪を手に入れたかを思い出して下さい。**出エジプト記 12章35~36節 イスラエルの子らはモーセのことばどおりに行い、エジプトに銀の飾り、金の飾り、そして衣服を求めた。36 主はエジプトがこの民に好意を持つようにされたので、エジプト人は彼らの求めを聞き入れた。こうして彼らはエジプトからはぎ取った。**

彼らがその金を持っていたのは、神がエジプト人たちに彼らが去る際に好意を示すよう導かれた恵みによるものでした。しかし今や彼らは神の恵みを忘れ、その賜物を偶像礼拝に用いたのです。神の恵みを忘れることは、しばしば私たちが神から受けた賜物を誤用し、神に栄光をもたらす代わりに罪を犯したり、自らを誇ったりする結果を招きます。4節の冒頭を見てください。

4 彼はそれを彼らの手から受け取ると、のみで鋳型を造り、それを鋳物の子牛にした。明らかにアロンにはある技能がありました。この金を形作ることの出来る神からの賜物でしたが、彼はその賜物を悪用し、民を偶像礼拝へと導きました。こうして4節は終わります。**彼らは言った。**

「イスラエルよ、これがあなたをエジプトの地から導き上った、あなたの神々だ。」そして私たちが神からますます遠ざかるにつれ、神の礼拝を歪め、ねじ曲げて、神にふさわしくないものへと変えてしまうのです。アロンが5節で何をするか注目して下さい。**5 アロンはこれを見て、その前に祭壇を築いた。そして、アロンは呼びかけて言った。「明日は主への祭りである。」**

これは単なる偶像崇拜ではなく、神への礼拝を装った偽りの礼拝でした。アロンは神の固有名詞を用いました。それが英語では全て大文字で、日本語では太字で表記されている理由です。彼は偶像を崇拜するというこの茶番を、実は神への礼拝であると宣言したのです。礼拝が私たち中心となり、神に栄光が帰されると言われることよりも、私たち中心に、私たちが望むものになる

時、このような事態が起こります。現代の多くの教会礼拝を見れば、正直に認めれば、神の御名のもとに行われながらも、実際に神に栄光をもたらす御言葉への従順を欠いた、人間中心の礼拝が数多く存在することがわかります。最後に、7-8節で神がモーセに事態を告げる場面では、罪の最終的な行き着く先が示されます。それは神の栄光を偽りと、神に満たない何かに取り替えてしまうことです。ローマ人への手紙 1章22-25節はそれを描写しています。彼らは、自分たちは知者であると主張しながら愚かになり、23 朽ちない神の栄光を、朽ちる人間や、鳥、獣、這うものに似たかたちと替えてしまいました。24そこで神は、彼らをその心の欲望のままに汚れに引き渡されました。そのため、彼らは互いに自分たちのからだを辱めています。25彼らは神の真理を偽りと取り替え、造り主の代わりに、造られた物を拝み、これに仕えました。造り主こそ、とこしえにほめたたえられる方です。アーメン。もちろん、モーセは山の上で神と過ごす時間を楽しんでいたのも、神は彼に何が起きているかを伝えなければなりませんでした。それが罪がたどる道であり、たとえその瞬間は楽しそうに見えても変わりません。金の子牛の偶像の周りで開かれていた宴は、その場では確かに楽しかったに違いないでしょう。使われていた言葉の中には、性的罪が行われていた可能性のある宴や、偶像礼拝と共に繰り広げられた飲めや歌えの大騒ぎをほのめかしています。しかし神の御言葉は、私たちの罪には代償が伴うことを明確に示しており、この箇所ですれを目の当たりにします。9節と10節を見てください。

9主はまた、モーセに言われた。「わたしはこの民を見た。これは実に、うなじを固くする民だ。10今は、わたしに任せよ。わたしの怒りが彼らに向かって燃え上がり、わたしが彼らを絶ち滅ぼすためだ。しかし、わたしはあなたを大いなる国民とする。」

このような箇所は、神の不変の主権という観点から理解する必要があります。マラキ書 3章6節 主であるわたしは変わることがない。そのため、ヤコブの子らよ、あなたがたは絶え果てることはない。神はしばしば人間の言葉で自らを表現し、私たち人間の視点から神の働きを理解できるように助けてくださいます。ですからたとえ神の御計画と目的が変わらないと分かっている、罪に対する神の怒りがどれほど大きいのかという事を私たちが理解するように、神はイスラエルの民を滅ぼし、モーセと共に新たに始めたいという願いを表現されます。モーセが実際に民のためにとりなす中で、神の民を救うよう懇願する姿が見えます。12節と14節にはこう記されています。12どうか、あなたの燃える怒りを収め、ご自身の民へのわざわいを思い直してください。14すると主は、その民に下すと言ったわざわいを思い直された。しかしモーセが自ら反逆と罪を目撃した時、罰は下されることとなりました。彼は神が十戒を記した二枚の石板を携えて山を下りた。そして19節はこう記しています。19宿営に近づいて、子牛と踊りを見るなり、モーセの怒りは燃え上がった。そして、手にしていたあの板を投げ捨て、それらを山のふもとで砕いた。以前の説教で、二組の石の板があったと述べましたが、その理由はこれです。モーセの怒りは、20節の行動に彼らの罪に対する怒りが明確に表れています。20 それから、彼らが造った子牛を取って火で焼き、さらにそれを粉々に砕いて水の上にまき散らし、イスラエルの子らに飲ませた。モーセが罪に対して行動を起こした一方で、その罪に加担した兄アロンは自らの関与を弁解しようとした。彼は22節で民を責めた。22

アロンは言った。「わが主よ、どうか怒りを燃やさないでください。あなた自身、この民が悪に染まっているのをよくご存じのはずです。そして、その偶像を自らの熟練した技による作品ではなく、火の気まぐれな作用のせいにしました。24 それで私は彼らに『だれでも金を持っている者は、それを取り外せ』と言いました。彼らはそれを私に渡したので、私がこれを火に投げ入れたところ、この子牛が出て来たのです。」イスラエルの民のすべてが神を拒み、偶像を拝んだわけではありませんでした。モーセは26節で、陣営全体に呼びかけを行った。26「だれでも主につく者は私のところに来なさい」と言った。すると、レビ族がみな彼のところに集まった。彼らは民の罪に対する罰を執行します。その罰は死ですが、モーセが反対した民全員の死ではありませんでした。28節はこう述べています。28レビ族はモーセのことばどおりに行った。その日、民のうちの約三千人が倒れた。死は常に罪に対する罰です。人間はもともと死のために創造されたものではありませんが、ローマ人への手紙5章12節はこう告げています。ローマ人への手紙 5章 12節 こういうわけで、ちょうど一人の人によって罪が世界に入り、罪によって死が入

り、こうして、すべての人が罪を犯したので、死がすべての人に広がったのと同様に——マタイ書 25章 41と 46 節, 41 私たちは皆罪人であり、その罪ゆえに肉体的に死にます。しかし私たちの罪は肉体的な死よりも大きな死をもたらします。それは永遠の霊的な死です。マタイによる福音書25章41節と46節はこう告げています。マタイの福音書 25章41節 それから、王は左にいる者たちにも言います。のろわれた者ども。わたしから離れ、悪魔とその使いのために用意された永遠の火に入れ。そして46節 46こうして、この者たちは永遠の刑罰に入り、正しい人たちは永遠のいのちに入ります。では、この死をどう回避すればよいのでしょうか。永遠の罰や死ではなく、永遠の命を受けるに足る義人となるにはどうすればよいのでしょうか。罪の治療法は何でしょうか。この点も、モーセの応答にあるこの箇所でも明らかにされています。出エジプト記32章30-32節を見てください。 30翌日になって、モーセは民に言った。「あなたがたは大きな罪を犯した。だから今、私は主のところに上って行く。もしかすると、あなたがたの罪のために宥めをすることができるかもしれない。」 31そこでモーセは主のところに戻って言った。「ああ、この民は大きな罪を犯しました。自分たちのために金の神を造ったのです。 32今、もしあなたが彼らの罪を赦してくださるなら——。しかし、もし、かなわないなら、どうかあなたがお書きになった書物から私の名を消し去ってください。」 モーセは民と神の間で仲介者として立ち、神に民を赦すよう請いました。注目すべきは、彼が、彼らの罪のための宥めをする、と宣言した点です。これが罪が赦されるために必要なことなのです。贖いとは罪の代価を支払うことであり、それによって神と人間は和解し、互いの交わりへと戻されるのです。しかし彼自身も人間である以上、たとえ自ら神との関係を断ち切ったとしても—どうかあなたがお書きになった書物から私の名を消し去ってください。という言葉が示すのは、まさにその意味です。しかし彼自身も人間であったため、たとえ自ら神との関係を断ち切ったとしても、それは民を救うことにはなりません。なぜなら彼は神自身からその罰を受けるに値するからです。神は疫病を送り、すでに殺された者たちに加えて民を罰されますが、モーセには約束の地へ民を導き続けるよう命じ、そこで彼らを導き入れると告げられます。 33:1 主はモーセに言われた。「あなたも、あなたがエジプトの地から連れ上った民も、ここから上って行って、わたしがアブラハム、イサク、ヤコブに誓って、『これをあなたの子孫に与える』と言った地に行け。

しかし彼らの罪ゆえに、神は第33章3節で民に告げられます。

³乳と蜜の流れる地にあなたがたを行かせる。しかし、わたしは、あなたがたのただ中であっては上らない。あなたがたはうなじを固くする民なので、わたしが途中であなたがたを絶ち滅ぼしてしまわないようにするためだ。あなた方は頑なな民だ。自分の思い通りにしようとする反抗的な民だ。先週、幕屋について話したことを覚えていますか。幕屋はなぜ存在したのでしょうか？神は聖なるお方であるため、聖別されて御前に近づく道がなければ、罪深い民と会うことができなかったからです。これは幕屋における犠牲と祭司たちを通して成し遂げられました。しかしモーセは、民の仲介者として神の前に立ち続けました。彼らの罪のために神に滅ぼされない唯一の希望は、このモーセという人物に懸かっていました。彼は会見の天幕へと赴き、第33章11節にはこう記されています。 11主は、人が自分の友と語るように、顔と顔を合わせてモーセと語られた。モーセが宿営に帰るとき、彼の従者でヌンの子ヨシュアという若者が天幕から離れないでいた。同じ神の御心に適った者となることを望んだヨシュアが、彼らの次の指導者となります。しかしモーセは二つのことを示しています。一つ目は、私たち人間は神と深く親密な関係を築けるということ。二つ目は、彼が神との関係において描いているのは、その親密さを可能にするお方であるということです。

まず一つ目について話しましょう。モーセはどうして神との親密さを得たのでしょうか。答えは、彼が何よりも神の栄光を知りたがったからです。第33章の終わりで、モーセは再び十戒の新しい石板を受け取る準備ができており、壊れた石板と交換するため、18節で神にこう尋ねます。どうか、あなたの栄光を私に見せてください。神は承諾しますが、後ろ姿しか見られないと言われました。正面から神の栄光をまともに見れば、その輝きがあまりに強すぎてモーセは死んでしまうからです。神の栄光を見たいですか？神の栄光を見るには、神に栄光を帰すことです。民は神を完全に見失いました。彼らは自分たちのやり方で礼拝を行い、その過程で罪を犯しまし

た。なぜなら神の栄光を見失い、目に見え、理解でき、体験できるもの——金の子牛のような神を求めたからです。しかし真の神ははるかに栄光に輝いており、モーセは後ろ姿しか見ることはできませんでした。それでも神とのその時間は彼の人生を完全に変えました。出エジプト記34章29-30節を見てください。

29それから、モーセはシナイ山から下りて来た。モーセが山を下りて来たとき、その手に二枚のさとしの板を持っていた。モーセは、主と話したために自分の顔の肌が輝きを放っているの
を知らなかった。 30アロンと、イスラエルの子らはみなモーセを見た。なんと、彼の顔の肌は
輝きを放っていた。それで彼らは彼に近づくのを恐れた。

人々は私たちの中に神の栄光を見るでしょうか？私たちが神と時間を過ごしている事を知っているでしょうか？神との交わりと神を賛美したいという願いが、私たちをそれほどまでに満たし、それが人々の知る私たちの姿となっているだろうか？そうあるべきですが、おそらくほとんどの場合そうではないでしょう。しかしモーセのこの出来事における主な役割は、神の民を救うための執り成しです。神の栄光は確かにモーセの前を通り過ぎました。そして、出エジプト記34章6-9節で彼が語る言葉を見てください。 **6主は彼の前を通り過ぎるとき、こう宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神。怒るのに遅く、恵みとまことに富み、 7恵みを千代まで保ち、咎と背きと罪を赦す。しかし、罰すべき者を必ず罰して、父の咎を子に、さらに子の子に、三代、四代に報いる者である。」 8モーセは急いで地にひざまずき、ひれ伏した。 9彼は言った。「ああ、主よ。もし私がみこころにかなっているのだしたら、どうか主が私たちのただ中にいて、進んでくださいますように。確かに、この民はうなじを固くする民ですが、どうか私たちの咎と罪を赦し、私たちをご自分の所有としてくださいますように。」**

神はご自身が愛と真実の神であり、罪を赦す一方で罪を罰する方であることを明らかにされます。モーセは再び民に代わって赦しを請い、神によって回復され、神の相続財産、民として認められるよう求めます。罪の癒しは悔い改めにあり、聖なる神の前で罪を罪として告白し、そこから離れることにあります。使徒の働き2章38節は悔い改めの必要性を示しています。 **使徒の働き 2章38節** **そこで、ペテロは彼らに言った。「それぞれ罪を赦していただくために、悔い改めて、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。罪の悔い改めは赦しを得るために必要であり、洗礼を受けることは悔い改めに伴うイエス・キリストへの信仰の必要性を示します。モーセは民に代わって神に嘆願することしかできませんでした。しかしイエスは神と人間の間の仲介者となりました。ただ私たちの代わりに神のもとへ赴き赦しを請うだけでなく、十字架上で死んで私たちの罪の代償を支払われました。それゆえ神は私たちを赦すことがお出来になります。**

ヨハネの手紙第一 2章2節この方こそ、私たちの罪のための、いや、私たちの罪だけでなく、世全体の罪のための宥めのささげ物です。

モーセが民の罪の贖いを試みると言ったことを覚えていますか？イエス様がその贖いを成し遂げられました。神が罪に対して示される怒りを自ら引き受け、私たちの罪の代価を支払われたのです。それによって神の御怒りが私たちから取り除かれ、罪が赦されたのです。これが英語の propitiation（宥め）という言葉の意味です。イエス様があなたの罪のために贖いを成さなければ、あなたは神に栄光を帰することも、モーセのように神を体験することもできません。あなたの罪はイスラエルと同じ道を歩ませています。唯一の解決策は悔い改めと、十字架であなたのために贖いを成し遂げたイエス・キリストへの信仰です。祈りましょう。 Exodus 32:1 – 34:35

Israel's Fall Punishment and Restoration

Today we are going to be covering the last section of Exodus that we haven't looked at yet, where Israel commits a great sin. And while we may not worship idols like they did, this passage shows **the path to sin**, the **price of sin** and the **cure for sin**. It warns us how sin tempts and in the end will cost us, but also gives hope for restoration through God's grace. We are again covering multiple chapters today from chapter 32-34, but the sin is described in chapter 32. In the opening verses, **we see the path to sin**. That path began when they first *disobeyed God's Word*. Moses did not return immediately so the people go to Aaron and say in verse 1, **"Up, make us gods who shall go before us. As for this Moses, the man who brought us up out of the land of Egypt, we do not know what has become of him."** They had already heard the Ten Commandments and knew God had said in Exodus 20:4-5A, 4 **"You shall not make for yourself a carved image, or any likeness of anything that is in heaven above, or that is in the earth beneath, or that is in the water under the earth. 5 You shall not bow down to them or serve them, for I the Lord your God am a jealous God..."** They knew what God had said, and yet they came and said to Aaron, **"...make us gods..."** The path continues when we choose to not listen to God, but secondly *begin to doubt God's purpose*. Notice what the people say about Moses, **we do not know what has become of him**. The truth was they knew exactly where Moses was. They could see the presence of God on the mountain above them and knew that Moses was up there receiving the Ten Commandments. If you remember back to when God had called them around the mountain in the first place in Exodus 24, we learned in verse 18 that Moses was only up there **...on the mountain forty days and forty nights**. So, it didn't take very long for them to lose their trust in God and his purpose. Instead of trusting God, they looked for something else when it went longer than they thought it should. We can begin to look away from God when we don't like his timing and our faith fails because we don't see him working like we expect. When that happens we thirdly *forget the grace of God in our lives*. Look at verse 2, **²So Aaron said to them, "Take off the rings of gold that are in the ears of your wives, your sons, and your daughters, and bring them to me."** But remember how they got that gold. Exodus 12:35-36 says, **35The people of Israel had also done as Moses told them, for they had asked the Egyptians for silver and gold jewelry and for clothing. 36And the Lord had given the people favor in the sight of the Egyptians, so that they let them have what they asked. Thus they plundered the Egyptians.** They only had that gold because of God's grace he poured out by causing the Egyptians to show them favor as they were leaving. But they now forgot his grace and used his gifts to worship idols. To forget God's grace will often result in then *misusing our gifts we have received from him to commit sin or glorify ourselves rather than bring glory to God*. Look at the way verse 4 begins... **⁴And he received the gold from their hand and fashioned it with a graving tool and made a golden calf.** Clearly Aaron had some skills, really some gift from God in forming this gold, but he misused that gift to lead the people to idolatry. So, verse 4 ends, **And they said, "These are your gods, O Israel, who brought you up out of the land of Egypt!"** And as we get further and further away from God, we actually *distort and twist the worship of God into something ungodly*. Notice what Aaron does in verse 5, **⁵When Aaron saw this, he built an altar before it. And Aaron made a proclamation and said, "Tomorrow shall be a feast to the LORD."** This wasn't just worship of an idol, this was false worship disguised as the worship of God. Aaron uses the personal name of God – that's why its in all capital letters in English and bold in Japanese. He declares that this mockery of worshipping idols is actually worshipping God. When worship becomes about us, what we want rather than what God says will bring him glory, this is

what happens. You can look at a lot of modern church services, and if we are honest, we can see a lot of man centered worship that is done in God's name, but without the obedience to His Word that brings actual glory to him. Finally, in verses 7-8 when God tells Moses what is going on, we see the final destination of sin. It exchanges the glory of God for a lie and something less than God. [Romans 1:22-25 describes this well... 22 Claiming to be wise, they became fools, 23 and exchanged the glory of the immortal God for images resembling mortal man and birds and animals and creeping things. 24 Therefore God gave them up in the lusts of their hearts to impurity, to the dishonoring of their bodies among themselves, 25 because they exchanged the truth about God for a lie and worshiped and served the creature rather than the Creator, who is blessed forever! Amen.](#) Of course, Moses is on the mountain enjoying time with God, so God has to tell him what is happening.

That is the path that sin always takes even if it seems enjoyable in the moment. I'm sure that the party happening around the golden calf idol was fun in the moment. Some of the language used even suggests a party where sexual sin may have been happening and drunken revelry along with the idol worship. But God's Word is clear that **there is price to our sin**, and we see that here in this passage. Look at verses [9:10. ⁹ And the LORD said to Moses, "I have seen this people, and behold, it is a stiff-necked people. ¹⁰ Now therefore let me alone, that my wrath may burn hot against them and I may consume them, in order that I may make a great nation of you."](#) We need to understand a passage like this in light of God's unchanging sovereignty. [Malachi 3:6 ⁶ "For I the Lord do not change; therefore you, O children of Jacob, are not consumed.](#) God often expresses himself in human terms to help us understand his work from our perspectives as humans. So even though we know God's plan and purpose does not change, he expresses the desire to destroy the nation of Israel and to start again with Moses for us to see how great his anger at sin is. We see Moses actually plead for God to preserve the people as he intercedes on their behalf Verses 12 and 14 say, [Turn from your burning anger and relent from this disaster against your people... ¹⁴ And the LORD relented from the disaster that he had spoken of bringing on his people.](#) But punishment would still be given out once Moses saw the rebellion and sin for himself. He leaves the mountain with the two stone tablets that God wrote the 10 commandments on. Then verse 19 tells us, ["And as soon as he came near the camp and saw the calf and the dancing, Moses' anger burned hot, and he threw the tablets out of his hands and broke them at the foot of the mountain.](#) I mentioned in a previous sermon that there were two sets of stone tablets, and this is why. Moses's anger against their sin is clear in his actions in verse 20. ["He took the calf that they had made and burned it with fire and ground it to powder and scattered it on the water and made the people of Israel drink it.](#) While Moses took action against sin, his brother Aaron who contributed to the sin tried to excuse his role in it. He blamed the people in verse 22 ["And Aaron said, "Let not the anger of my lord burn hot. You know the people, that they are set on evil. And even blamed a random act of the fire for the idol, rather than his skilled crafting of it. Verse 24 says, So I said to them, 'Let any who have gold take it off.' So they gave it to me, and I threw it into the fire, and out came this calf."](#)

Not all the people of Israel had rejected God and worshipped the idols. Moses put out a call across the camp in verse 26, ["Who is on the LORD's side? Come to me."](#) [And all the sons of Levi gathered around him.](#) They carry out the punishment for the people's sin, and that punishment is death, although not total death which Moses had argued against.

Verse 28 tells us, **28 And the sons of Levi did according to the word of Moses. And that day about three thousand men of the people fell.** Death is always the penalty for sin. Humans were not created originally for death, but **Romans 5:12 tells us, 12 Therefore, just as sin came into the world through one man, and death through sin, and so death spread to all men because all sinned—** We are ALL sinners and we die physically because of that sin. But our sin brings a greater death than physical, it brings eternal spiritual death. Matthew 25:41 and 46 tell us, **41 “Then he will say to those on his left, ‘Depart from me, you cursed, into the eternal fire prepared for the devil and his angels. Then verse 46 And these will go away into eternal punishment, but the righteous into eternal life.”**

So how do we avoid this death, how do we become righteous enough to receive eternal life rather than eternal punishment or death? **What is the cure for sin?** We also see that in this passage in Moses’s response. Look at verses **30-32 of Exodus 32.** **³⁰ The next day Moses said to the people, “You have sinned a great sin. And now I will go up to the LORD; perhaps I can make atonement for your sin.” ³¹ So Moses returned to the LORD and said, “Alas, this people has sinned a great sin. They have made for themselves gods of gold. ³² But now, if you will forgive their sin—but if not, please blot me out of your book that you have written.”** Moses acted as a mediator between the people and God asking God to forgive them. Notice he said he would make atonement for their sin. That is what is needed for sin to be forgiven. Atonement is paying the price for sin so that God and humans can be reconciled and brought back into fellowship with each other. But as a human himself, even if he himself gave up his own relationship with God – that’s what he means by **“blot me out of your book”** – it would not save the people. Because he would deserve that punishment from God himself. God does punish the people in addition to those who were already killed by sending a plague, but he tells Moses to continue to lead the people to the promised land where he will take them. **Exodus 33:1 says, 33 The LORD said to Moses, “Depart; go up from here, you and the people whom you have brought up out of the land of Egypt, to the land of which I swore to Abraham, Isaac, and Jacob, saying, ‘To your offspring I will give it.’ But because of their sin, God tells the people in verse 3 of chapter 33 ³ Go up to a land flowing with milk and honey; but I will not go up among you, lest I consume you on the way, for you are a stiff-necked people.”** You are stiff-necked...you want to do your own thing...you are rebellious. Remember last week, we talked about the tabernacle. Why did the tabernacle exist? Because God in his holiness could not meet with these sinful people unless there was some way to come into his presence in holiness. This was done through the sacrifices and the priests at the tabernacle. But Moses continued to act as a mediator for the people before God. The only hope they had of not being destroyed by God for their sin was this man Moses. He would go to the tent of meeting, and verse **11 of chapter 33 says, ¹¹ Thus the LORD used to speak to Moses face to face, as a man speaks to his friend. When Moses turned again into the camp, his assistant Joshua the son of Nun, a young man, would not depart from the tent.** Joshua who desired that same godliness, would be their next leader. But Moses shows us two things. One, we as humans can have a deeply intimate relationship with God, and two, he is picturing in his relationship with God the one who makes that intimacy possible.

Let’s talk about the first one. How did Moses find this intimacy with God? The answer is that he desired above all to know the glory of God. At the end of chapter 33, Moses is again ready to receive new tablets with the ten commandments to replace the broken

ones and he asks God in verse 18, “Please show me your glory.” God agrees to, but says he can only see him from the back because to see his full glory from the front would be so great it would kill Moses. Do you desire to see God’s glory? We see God’s glory by bringing God glory. The people lost sight of God completely. They went about worship in their own way and sinned in the process, because they lost sight of God’s glory and wanted a god made like something they could see, understand and experience – a gold cow. But the real God so much more glorious that Moses could only see him from the back. But when he did, his time with God changed everything about his life. Look at verses 29-30 of Exodus 34. 29 When Moses came down from Mount Sinai, with the two tablets of the testimony in his hand as he came down from the mountain, Moses did not know that the skin of his face shone because he had been talking with God. 30 Aaron and all the people of Israel saw Moses, and behold, the skin of his face shone, and they were afraid to come near him. Do people see God’s glory in us? Do they know we spend time with God? Does our friendship with God and desire to glorify him so consume us to the point that it is what people know about us? It should, but most often probably doesn’t.

But Moses’s primary role in this event is interceding to save God’s people. God’s glory did pass before Moses and see what he says as he does in Exodus 34:6-9,

⁶The LORD passed before him and proclaimed, “The LORD, the LORD, a God merciful and gracious, slow to anger, and abounding in steadfast love and faithfulness, ⁷keeping steadfast love for thousands, forgiving iniquity and transgression and sin, but who will by no means clear the guilty, visiting the iniquity of the fathers on the children and the children’s children, to the third and the fourth generation.” ⁸And Moses quickly bowed his head toward the earth and worshiped. ⁹And he said, “If now I have found favor in your sight, O Lord, please let the Lord go in the midst of us, for it is a stiff-necked people, and pardon our iniquity and our sin, and take us for your inheritance.” God makes clear that he is a God of love and faithfulness who will forgive sins, but also punish sins. Moses again asks for forgiveness on behalf of the people and asks to be restored by God to be his inheritance, his people. The cure for sin is found in repentance, turning away from our sin by confessing it as sin before a holy God. Acts 2:38 shows us the necessity of repentance. 38 And Peter said to them, “Repent and be baptized every one of you in the name of Jesus Christ for the forgiveness of your sins, and you will receive the gift of the Holy Spirit. Repenting of sin is necessary for forgiveness, and being baptized shows the necessity of faith in Jesus Christ that comes with repentance. You see Moses could only plead with God on behalf of the people. But Jesus became the mediator between God and humans who not only can go to God on our behalf and ask for our forgiveness, but he also provided the payment for our sins by dying on the cross so that God can forgive us. 1John 2:2 says, 2 He is the propitiation for our sins, and not for ours only but also for the sins of the whole world. Remember Moses said he would try to make atonement for the people’s sin? Jesus made that atonement. He paid for our sins by taking God’s wrath on himself against that sin so that God’s wrath could be taken off of us and our sins forgiven. That is what the word propitiation here in English means. Without Jesus making atonement for your sins, you cannot bring glory to God and experience him as Moses did. Your sin is leading you down the same path as Israel, and the only solution is repentance and faith in Jesus Christ who made atonement for you on the cross. Let’s pray.